

9 月議会一般質問報告（9/9）彦坂和子

1. 名岐道路（一宮～一宮木曽川）事業について

今年 6 月、国土交通省・名古屋高速道路公社が作成したパンフレットが地権者や沿線の町内会（宮西、貴船、富士、葉栗、西成、丹陽町、今伊勢町、木曽川町連区の一部）の住民に配布されました。パンフレットの内容で質問しました。



質問 「名岐道路は一宮市を介して名古屋都心部と岐阜圏域を結ぶ高規格道路で、東海北陸自動車道、名神高速道路、名古屋第二環状自動車道、名古屋高速道路と一体となって名古屋～岐阜都市圏域の間の社会経済活動を支える重要な道路です。」とある。**高規格道路**とはどのような道路か？

答弁 経済活動を支える、災害からの迅速な復旧・復興を図るため、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路であり、求められるサービス速度が概ね時速 60km 以上の道路。

●事業概要

名岐道路（一宮～一宮木曽川）は、名古屋高速道路高速 16 号一宮線と東海北陸自動車道・一宮木曽川 IC 付近を結ぶ自動車専用道路として整備する事業であり、一宮インターチェンジをジャンクション化し、名神高速道路との相互利用を可能にする。2025 年 4 月国土交通省が新たに事業化、2026 年 1 月道路公社が有料道路事業化した。



質問 「名岐道路は一宮市を介して名古屋都心部と岐阜圏域を結ぶ高規格道路で、新たに事業化、有料道路事業化とは何か？一宮市の役割は？

答弁 **新規事業化**：2025 年度 愛知国道事務所において現地測量や調査等に着手した。**有料道路事業化**：道路建設・維持管理の費用を、利用者から徴収する通行料金によって賄う「有料道路制度」を適応して事業を進めることに対して、国土交通大臣から許可を受けること。**一宮市の主な役割**：市内のインフラ整備状況や交通事情を把握している強みを活かし、関係機関と協議を行い、地元調整等に努め連携し事業を推進する。

●今後のスケジュール

現在、道路・橋梁の設計を進めている。今後は設計が整い、工事着手の段階で説明会を開催し、事業の進め方や工事の内容、工事期間等について説明する。

名岐道路の整備は、市内全域で交通影響が大きな事業なので、規制情報等に対して市として必要な情報を発信していく。

●2026 年度国・道路公社の予算、一宮市が負担する費用

国の事業費は 1 億 8 千万円で事業内容は設計等、道路公社は 8 億円で事業内容は測量、地質調査、設計等。

事業本体に対して市が負担する費用はないが、26 年度予算として要望活動や関係機関との協議に必要な交通費等、62 万 9 千円を計上している。今後必要な予算はお願いする。



●整備効果

①国道 22 号の交通量が減少し、速度向上が期待できる。一宮東出口付近の渋滞の緩和が期待される。②岐阜地域で製造された部品等の多くが名古屋港周辺まで運搬されているが、速達性に課題がある。岐阜地域と名古屋港周辺まで約 14 分短縮できる。

中部経済連合会は 2024 年 3 月「名岐道路は、産業面では岐阜地域で製造された航空宇宙産業関連の部品等を、名古屋港周辺の工場まで運搬・組立し、アメリカへ出荷される等、この南北の軸は、世界経済をささえており」と述べている。

◆日本共産党の考え

2023 年 9 月特別委員会の「名岐道路の早期事業化及び名神高速道路の尾張一宮パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置を求める決議」（案）に対して、「交通課題の解消などに資すること自体を否定するものではない。長期的に見れば、建造物の修繕費用などが将来への負担となり、移動は公共交通の充実、農地を確保し営農で生活できる、水害などの災害に強い一宮市求める立場」と反対しました。

高市政権は、大軍拡に乗り出そうとしており、尾張地域は航空宇宙産業特区に指定され、三菱重工を始め、軍需企業を連携させることで高性能の戦闘機や長射程ミサイルの開発・生産が進められている。製造された武器や軍需物資の速やかな輸送を可能とするために、名古屋港と航空自衛隊岐阜基地を結ぶ名岐道路としての事業化を決定した。この地域で行われつつある大型開発を「戦争国家づくり」の後方支援との視点でとらえ直す必要があると考えます。そのような視点でも考えていきたいと思ひます。

2. 介護保険事業の拡充を 高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らせるように



65歳以上人口 103,594人 高齢化率 27.7% (2026, 6)
要介護・要支援認定者数 19,834人 認定率 19.2%

質問 認定の流れは、「本人・家族が申請⇒心身の状態調査⇒審査・判定⇒認定・通知」 市の資料「原則として申請から30日以内に認定し通知」となっている。
2024年度平均で一宮市 47.1日、全国 39.9日、愛知県 38.5日。
全国、愛知県の平均日数を上回っている。**市の認定審査期間が長い、早く対応してほしい。**



答弁 国が整備した介護情報基盤を利用する等デジタル化の推進、事務体制の見直し等を行うことで認定審査期間の短縮ができるよう努めていきたい。

質問 訪問介護の介護報酬引き下げの事業所への影響、在宅生活の高齢者への影響は把握しているか。特別養護老人ホーム等の待機者数と整備は。

答弁 介護報酬引き下げで、サービスを受けられない等影響は把握していない。
特別養護老人ホームの待機者数は133名 (2026,4,1)。その他の入所施設の待機者数は把握していない。第9期介護保険計画に基づき、26年度中に認知症対応型共同生活介護施設が一か所開設予定となっている。

一宮市の介護保険料の推移

第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
2009年度～ 2011年度	2012年度～ 2014年度	2015年度～ 2017年度	2018年度～ 2020年度	2021年度～ 2023年度	2024年度～ 2026年度
3,859円	5,125円	5,200円	5,350円	5,817円	6,317円

*介護保険料は、各自治体で3年ごとに改定します。

市の介護保険料は第4期～第9期まで上がり続けています。第10期計画の審議は今後3回行われます。介護保険料引き下げのために、所得段階の見直し、1人当たりの「繰越金+基金保有額」活用など検討してほしい。

高齢者・市民や介護事業所の実態把握、介護従事者の人材確保、介護施設の整備など、介護保険事業の拡充、介護保険料の引き下げで、高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らせるように、関係者でしっかり審議してほしい。

3. 高齢者福祉タクシー料金助成対象者を 80歳以上に、使いやすい助成方法に

●これまで高齢者福祉タクシー料金助成対象者拡大について、2015年12月議会、2019年3月議会、2021年12月議会に取り上げてきた。2022年4月から対象者が90歳から85歳へと広がり、高齢者・市民から大変喜ばれています。
85歳以上の高齢者に、年度に普通タクシー30枚、リフト付きタクシー10枚交付されます。生活保護世帯、市民税所得割非課税世帯で、通院等で必要な方には年度中に再度申請を受け付け、追加交付されます。

質問 対象者を80歳にする検討をしてほしい。80歳に引き下げた場合の予算はどれくらい必要か。近隣自治体では初乗り運賃だけでなく迎車料金も助成する、85歳以上で住民税非課税世帯に、基本料金以外にも使用できるチケットを交付するなどの動きがある。使いやすい助成方法を検討してほしい。

答弁 仮に対象者を80歳に引き下げた場合、あくまでも試算だが予算額は少なくとも3,200万円余の増額になる。福祉タクシーの制度については、引き続き研究していく。

近隣自治体の高齢者福祉タクシー助成内容

一宮市	85歳以上	初乗り運賃×年30枚
江南市	85歳以上	初乗り運賃×年48枚 迎車回送料金200円まで助成
犬山市	85歳以上	基本料金×年28枚 非課税世帯で運転免許無しは75歳以上
岩倉市	85歳以上	初乗り運賃・迎車回送料金×年24枚
扶桑町	80歳以上	基本料金×年36枚



*対象者を85歳から80歳に広げるためには、少なくとも3,200万円が必要とのことです。高齢者が免許証返納しても、病院や買い物などへの外出機会を確保することが、いのちと健康を守り、地域住民との交流も広がり、豊かな市民生活となると考えます。元気な高齢者が増えれば、長い目で見れば介護予防、認知症予防となり、市の社会保障予算の削減にもつながると考えます。ぜひ検討・研究をしてほしい。

彦坂和子議員の一般質問はこちらから
一宮市議会録画映像 2026/9/9

